

令和6年度

ミニデイ型・運動型通所サービス研修会

ミニデイ・運動型の効果について



名古屋市立大学大学院医学研究科

名古屋市立大学病院地域包括ケア推進・研究センター

川出義浩 宮崎景

発表内容

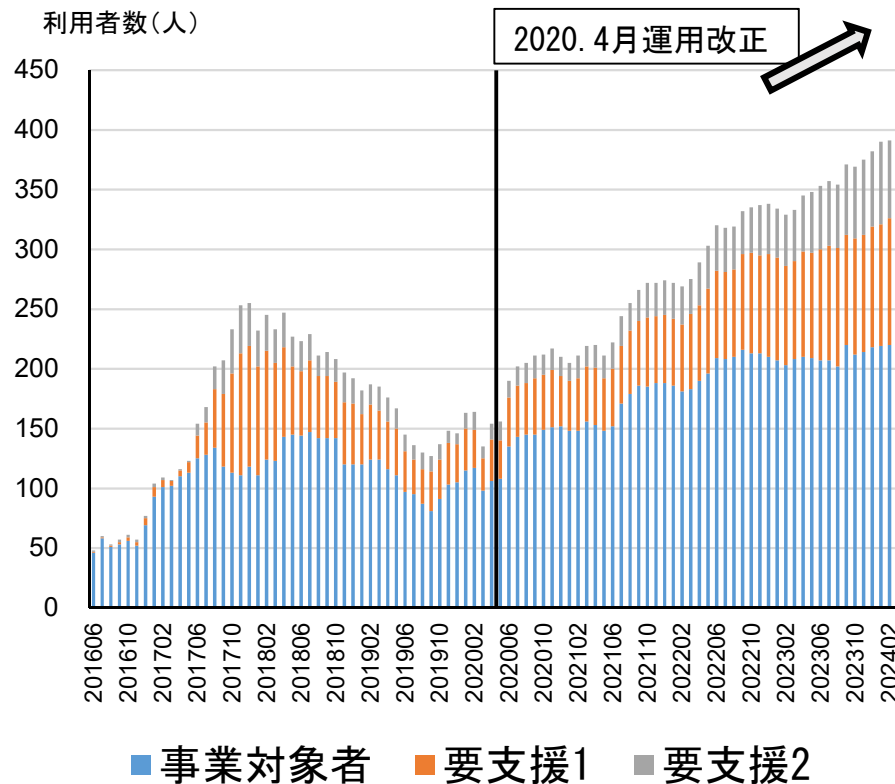
- ミニデイ型・運動型通所サービス利用者の推移
- ミニデイ型通所サービス(いきいき元気プログラム)の効果検証
- ミニデイ型通所サービス タブレット端末を用いたシステム

ミニデイ型・運動型通所サービスの違い

	ミニデイ型 (いきいき元気プログラム)	運動型
対象	事業対象者 要支援1・要支援2	事業対象者 要支援1・要支援2
頻度・時間	週1回 120分	週1回 60分程度
開催形式	単独型・一体型(他の通所 介護と実施)	単独型・一体型(他の通所介護と実 施)
プログラム内容	統一プログラム	事業所独自に設定
特徴	運動・栄養・口腔分野の複 合プログラム プログラムの効果 検証が可能	2019年9月調査 80事業所から回答 ・電動エアロバイク 30事業所 ・ストレングスマシーン 25事業所 ・エクササイズチューブ 40事業所 ・踏み台(昇降用) 37事業所 ・ピラティスボール(20cm程度) 32事業所
アセスメント	11種類 (前半・中間・後半)	7種類 (開始時、3か月、6か月)
期間	原則6か月(心身の状態に 応じて延長可能)	原則6か月(心身の状態に応じて延 長可能)
送迎	あり	なし(自費であり)

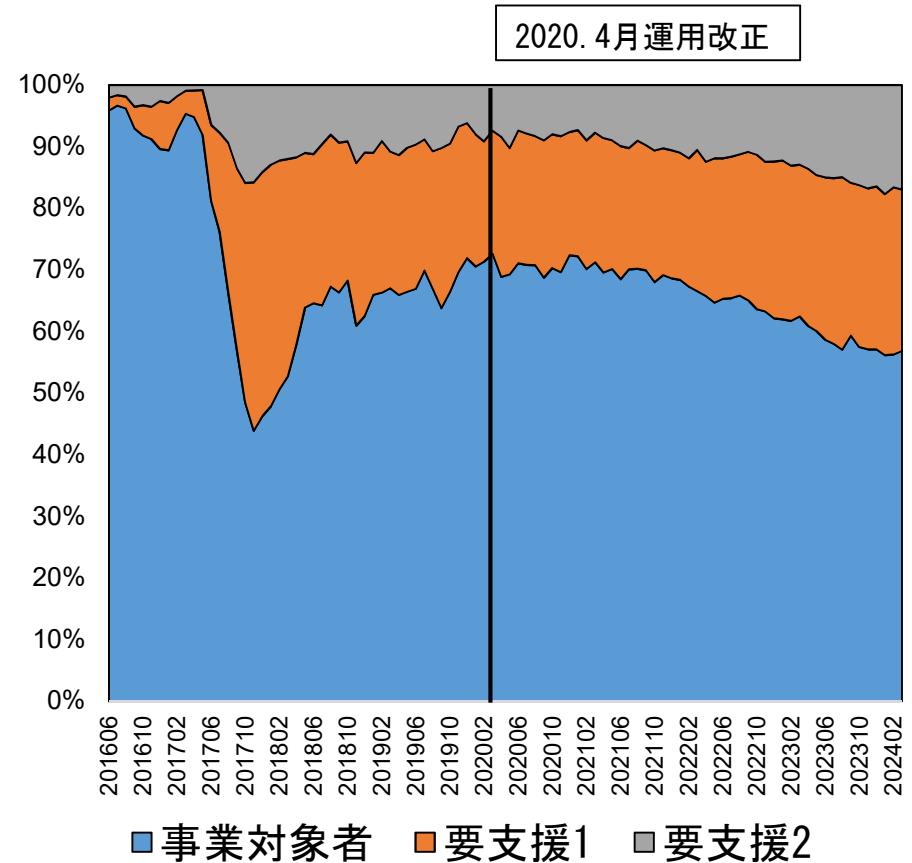
ミニデイ型サービスの経時的推移

ミニデイ型サービス利用者の月別推移



ミニデイ型利用者数は増加傾向である。

介護区分別ミニデイ型サービス利用者の構成比率

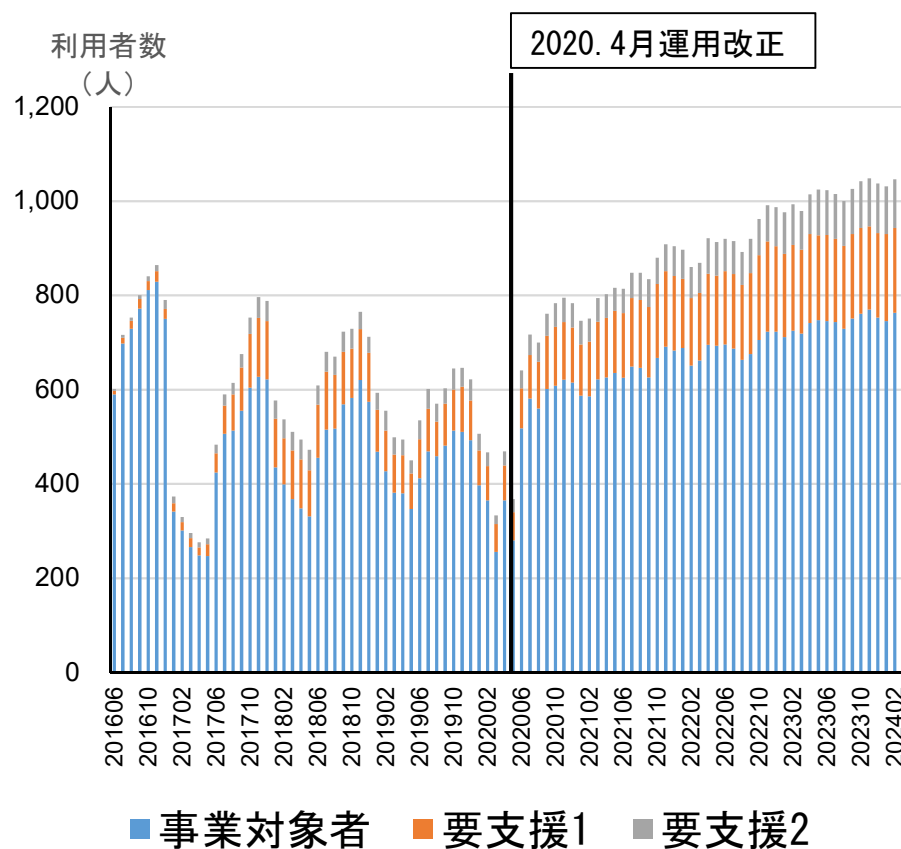


ミニデイ型では総合事業対象者の割合が減り
要支援2の割合が増えた。

給付データから作成

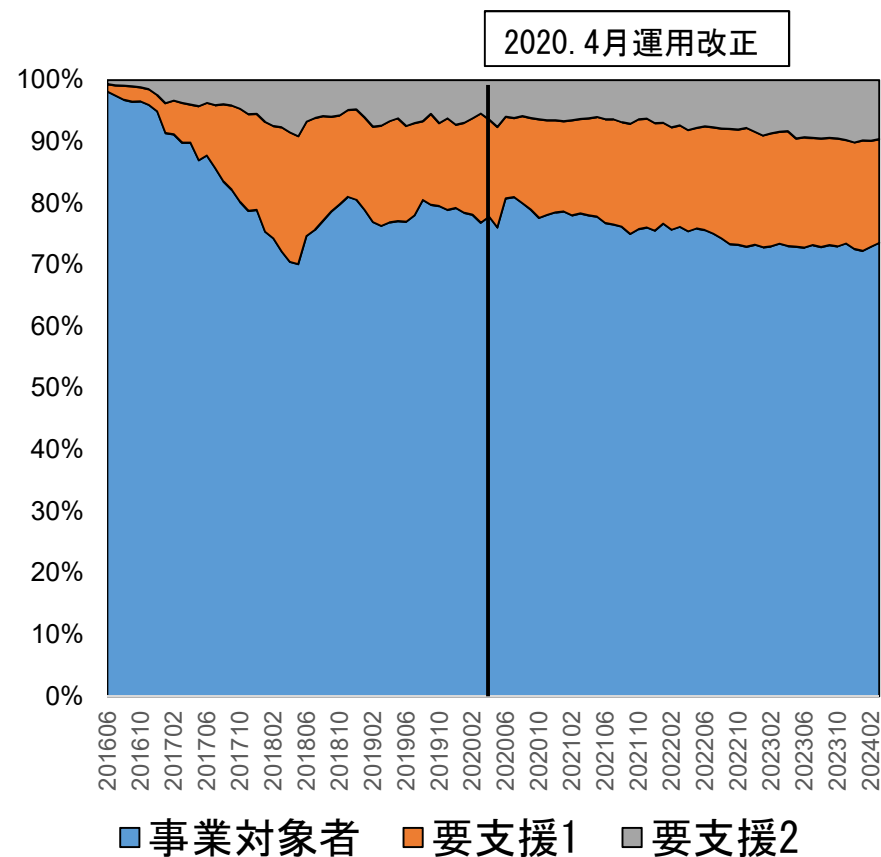
運動型サービスの経時的推移

運動型サービス利用者の月別推移



2023年度運動型サービス利用者数は月1,000人を超えた。

介護区分別運動型サービス利用者の構成比率



運動型サービス利用者の介護区分に大きな変化はない。

給付データから作成

発表内容

- ミニデイ型・運動型通所サービス利用者の推移
- ミニデイ型通所サービス(いきいき元気プログラム)の効果検証
- ミニデイ型通所サービス タブレット端末を用いたシステム

目 的

ミニデイ型通所サービスでの介入プログラム
(いきいき元気プログラム)は、フレイルの進
行を防ぐことができるのかを検証する。



方 法

対象：なごや介護予防・認知症予防プログラム実施者

- ・2016年6月1日～2019年12月31日の期間
- ・プログラム6ヶ月間修了者
- ・ミニデイ事業所から名古屋市健康福祉局を經由してアセスメントデータが提出された方

研究デザイン：後ろ向き観察研究

実施場所：名古屋市内ミニデイ通所サービス事業所

主評価項目：フレイル度の変化

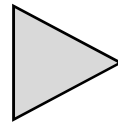
副次的評価項目：各アセスメント結果の前後比較

主評価項目 フレイル度の変化

- プログラム開始時と24週後のフレイル度を比較
- フレイル度の評価: Friedらの評価基準(5項目)

5項目

- ① 体重減少
- ② 筋力低下
- ③ 疲労感
- ④ 歩行速度低下
- ⑤ 活動性の低下



該当項目数:フレイル度

0項目: 健常

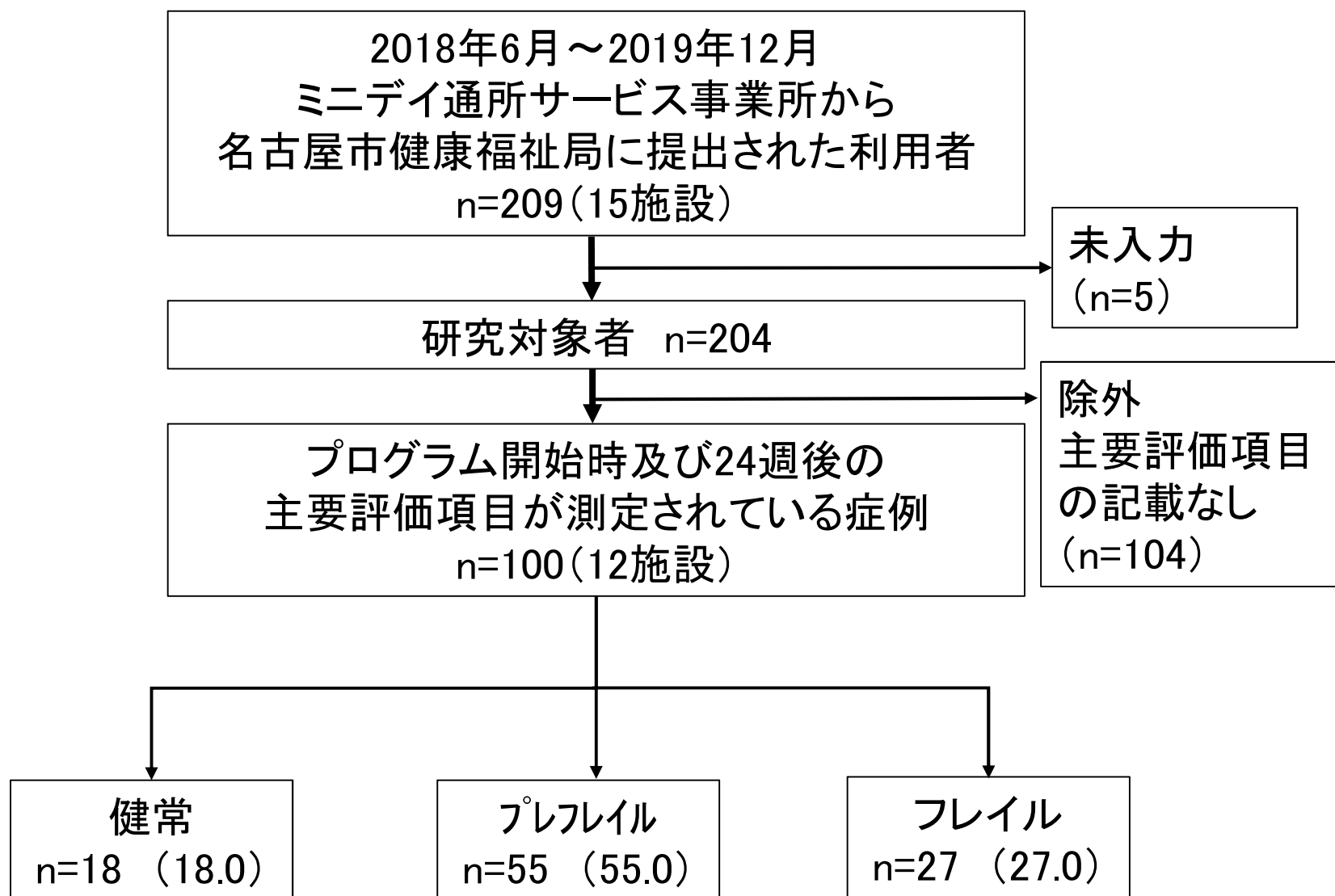
1~2項目: プレフレイル

3項目以上: フレイル

5項目の評価基準(本研究)

項目	評価基準
体重減少	6カ月間で2kg以上の体重減少 ・開始時：基本チェックリスト質問項目No.11 ・24週後：基本チェックリスト記入時に測定した体重
筋力低下	30秒椅子立ち上がりテスト 男性 65～69歳 17回以下 女性 65～69歳 16回以下 70～74歳 15回以下 70～74歳 14回以下 75～79歳 14回以下 75～79歳 12回以下 80歳以上 13回以下 80歳以上 12回以下
疲労感	「(ここ2週間)訳もなく疲れたような感じがする」 ・基本チェックリスト質問項目No.25
歩行速度低下	2.4m通常歩行速度 秒速(m/秒)を計算。 通常歩行速度 1.0 m/秒 未満
活動性の低下	Life-Space Assessment(以下LSA)56点以下

結果1: 対象症例(アセスメントデータ)のフロー

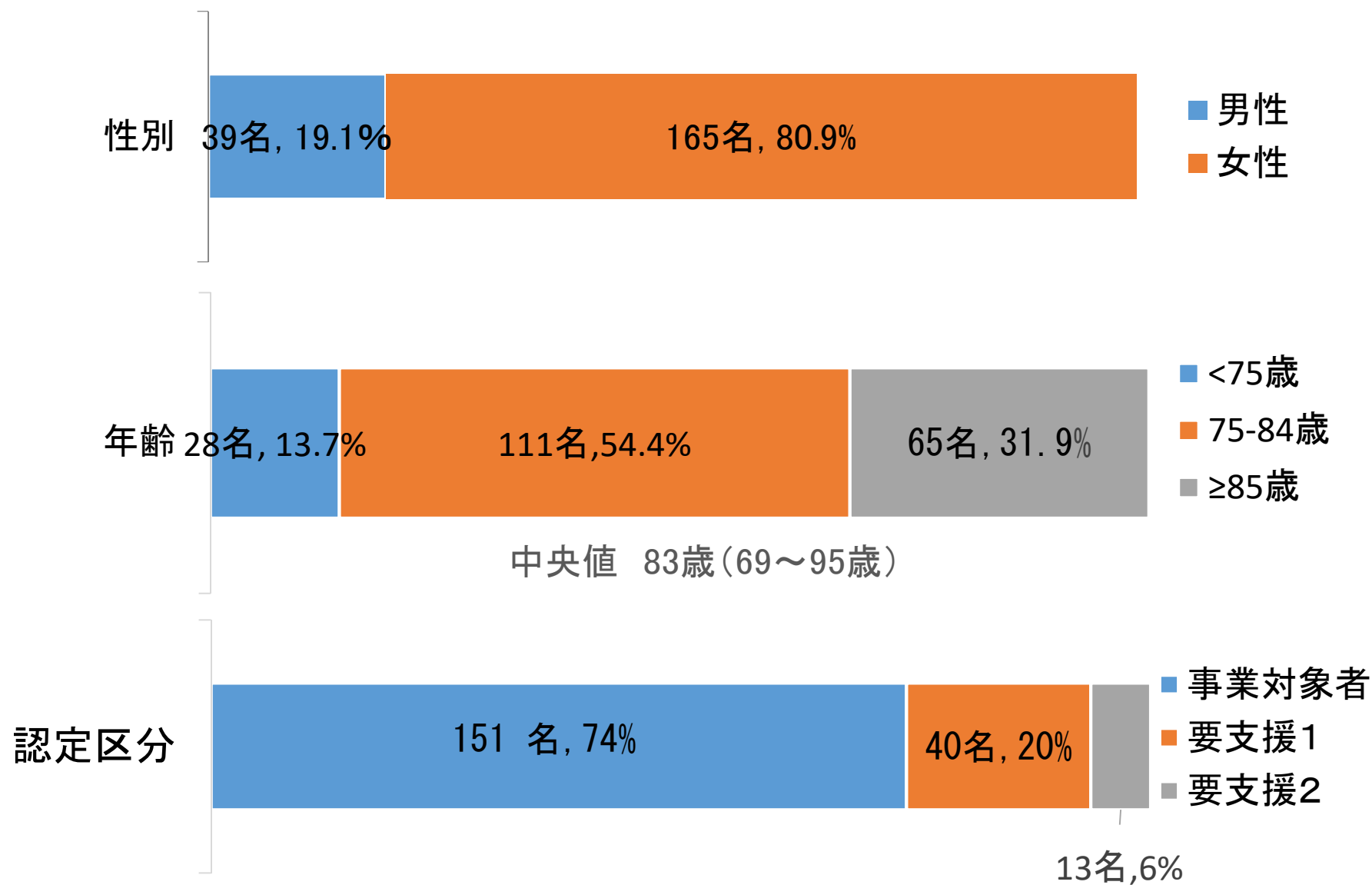


()内%

結果2: 対象者の開始時基本属性 (n = 204)

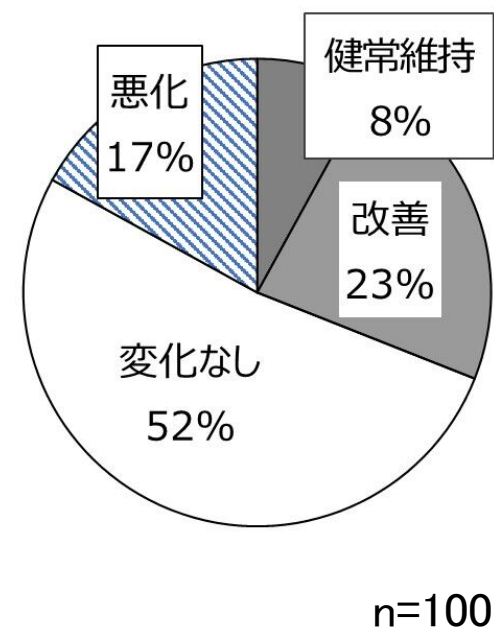
項目	
性別 - n (%)	
男性	39 (19.1)
女性	165 (80.9)
年齢 - 中央値 (範囲), 歳	83 (69-95)
<75 n (%)	28 (13.7)
75-84	111 (54.4)
≥85	65 (31.9)
認定区分- n (%)	
事業対象者	151 (74.0)
要支援 1	40 (19.6)
要支援 2	13 (6.4)

結果2: 対象者の開始時基本属性 (n=204)



結果3:フレイル度の変化(開始時から24週後)

フレイル度 <u>開始時</u> → 24週後	人数	%	
<u>健常</u> →	n=18		
健常	8	44.4	健常維持
プレフレイル	10	55.6	悪化
フレイル	0	0.0	
<u>プレフレイル</u> →	n=55		
健常	9	16.4	改善
プレフレイル	39	70.9	変化なし
フレイル	7	12.7	悪化
<u>フレイル</u> →	n=27		
健常	0	0.0	
プレフレイル	14	51.9	改善
フレイル	13	48.1	変化なし



結果4: 測定項目結果の前後比較

項目－平均値(標準偏差)	人数	開始時	最終測定	P 値
身長 cm	149	151.9 (6.8)	151.9 (6.9)	0.653
体重 kg	148	51.8 (9.0)	51.7 (9.2)	0.659
BMI	148	22.4 (3.3)	22.4 (3.3)	0.420
基本チェックリスト総得点	148	8.6 (4.1)	8.4 (4.3)	0.643
<u>LSA総得点 (生活のひろがり)</u>	127	86.6 (26.2)	89.9 (24.4)	<u>0.034</u>
運動機能				
<u>30秒椅子立ち上がりテスト(回)</u>	141	14.5 (5.2)	15.4 (4.8)	<u>0.006</u>
2.4m歩行 時間(秒)	140	2.49 (0.90)	2.44 (0.71)	0.321
歩行速度 (m/秒)	140	1.05 (0.29)	1.06 (0.30)	0.650
TUG (秒) (歩く力)	143	8.6 (2.1)	8.5 (2.2)	0.641

※ 30秒立ち上がりテストの回数は、腕組み有り・無を考慮せず、測定回数で算出した。

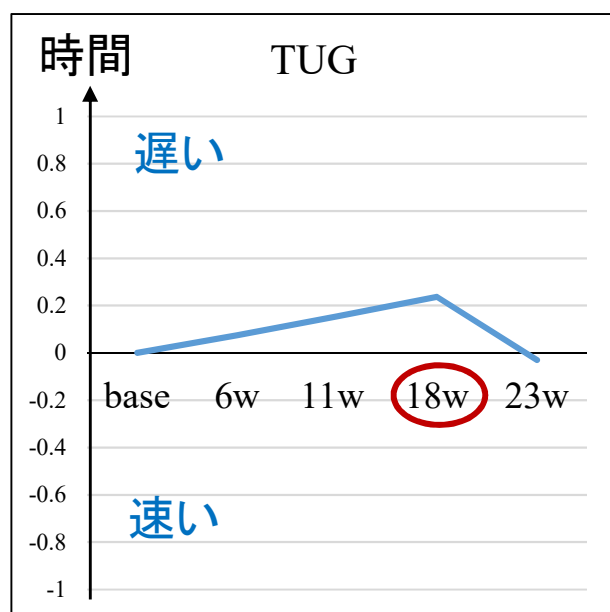
結果5： 測定項目結果の前後比較

項目－平均値(標準偏差)	人数	開始時	最終測定	P 値
認知・うつ				
バーバルフルーエンシー	123	9.2 (3.1)	9.1 (3.4)	0.641
ワードメモリー 直後正解	124	6.0 (2.0)	6.0 (2.0)	0.208
ワードメモリー 20分後正解	122	5.5 (2.7)	5.2 (2.4)	0.781
GDS-15 (老年期うつの検査)	142	4.8 (3.8)	4.5 (3.4)	0.268
栄養				
MNA-SF (簡易栄養状態評価)	136	11.8 (1.9)	11.8 (2.0)	0.716
食事摂取チェックシート合計点	76	67.2 (10.7)	68.4 (10.8)	0.105
<u>セルフチャレンジテスト(実行度)</u>	95	7.0 (2.6)	8.3 (2.1)	<u><0.001</u>
<u>セルフチャレンジテスト(満足度)</u>	95	7.4 (2.6)	8.5 (2.2)	<u><0.001</u>

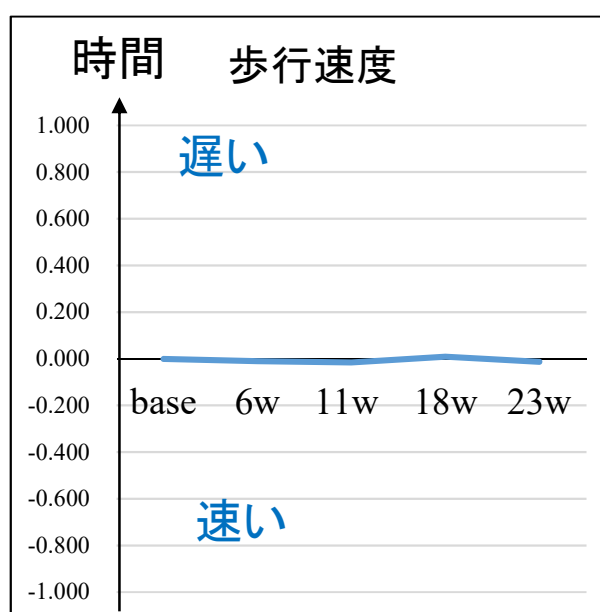
結果6: 測定結果の経時的変化

運動機能

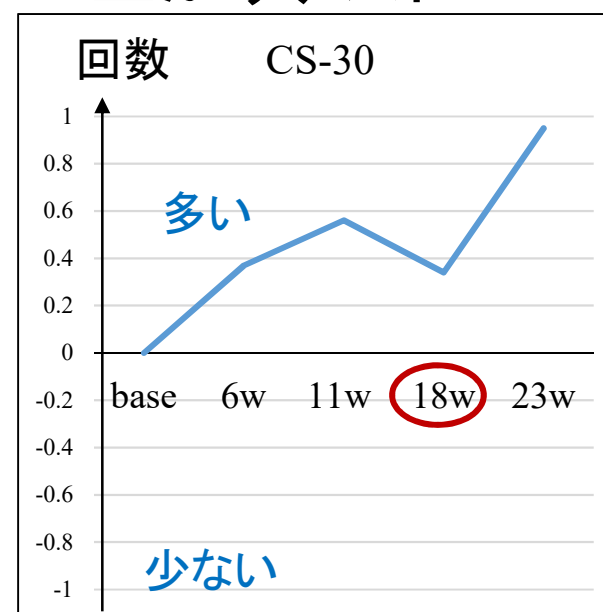
TUG



歩行速度

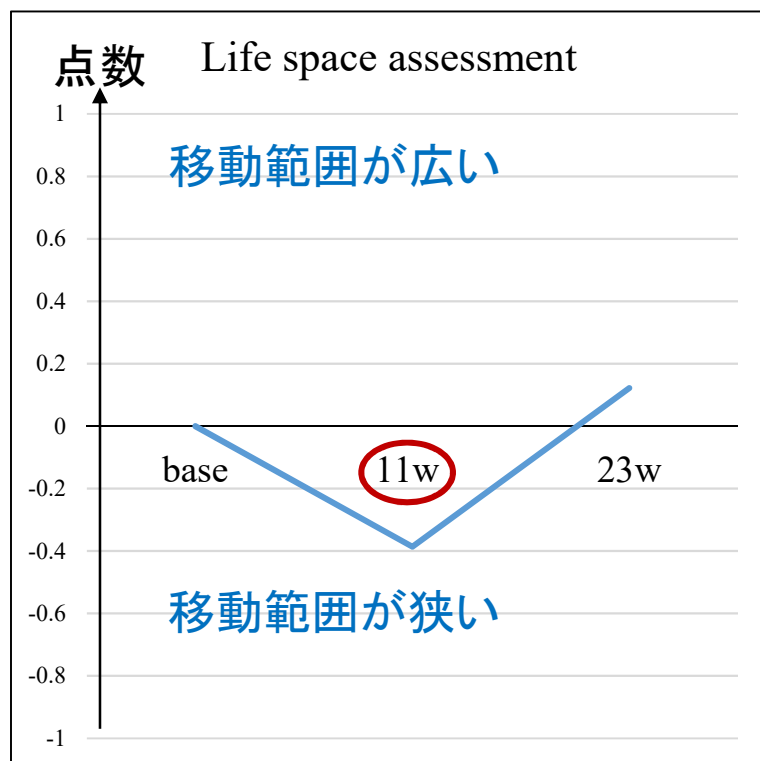


30秒椅子立ち上がりテスト



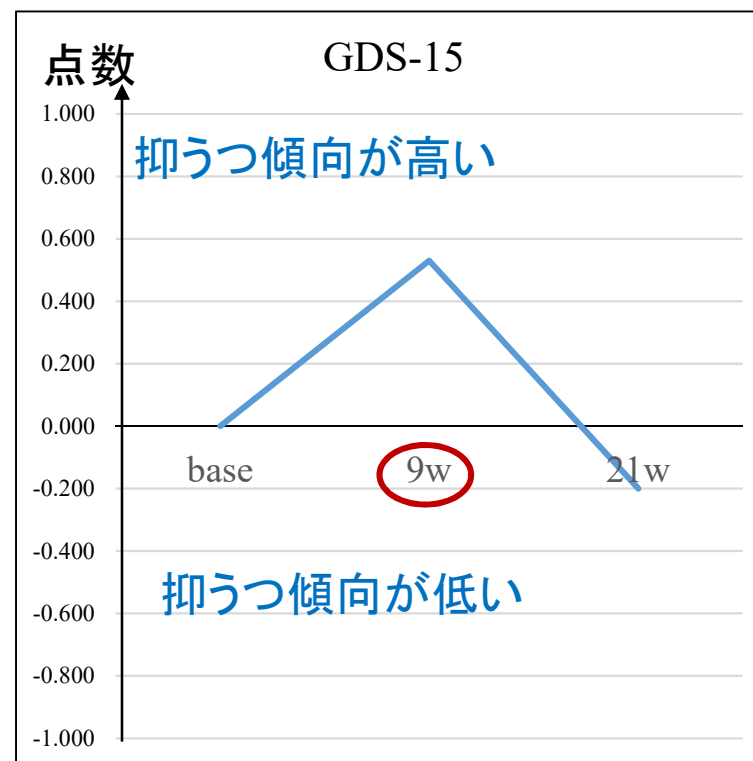
LSA (Life space assessment)

個人の生活の空間的広がりにおける移動を評価する指標



GDS-15

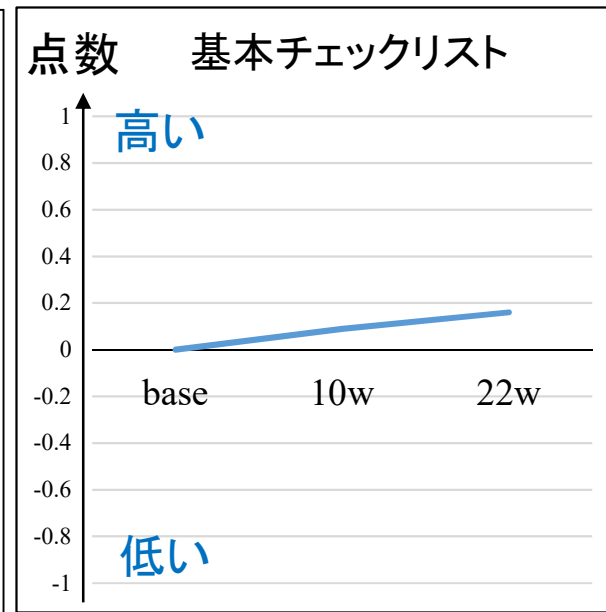
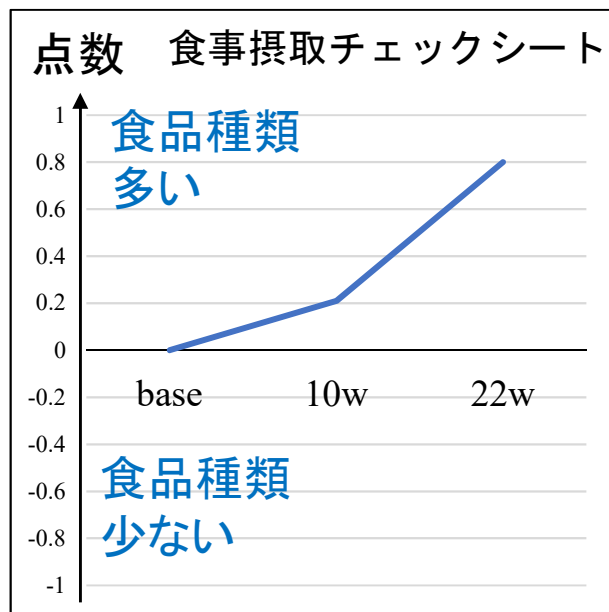
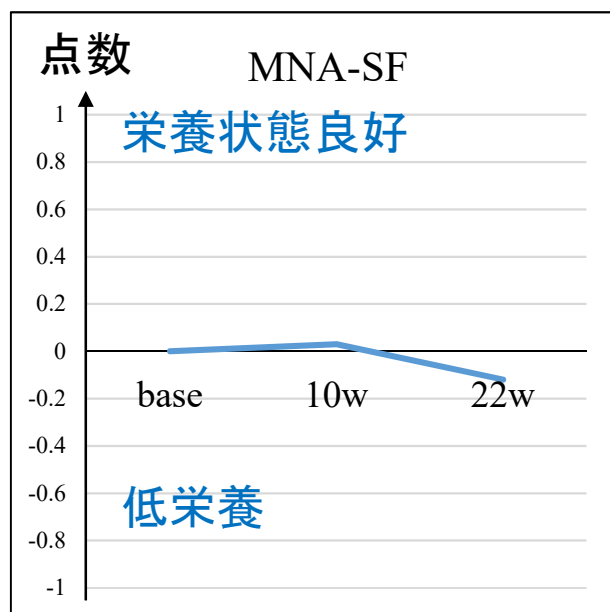
老年期うつ評価尺度



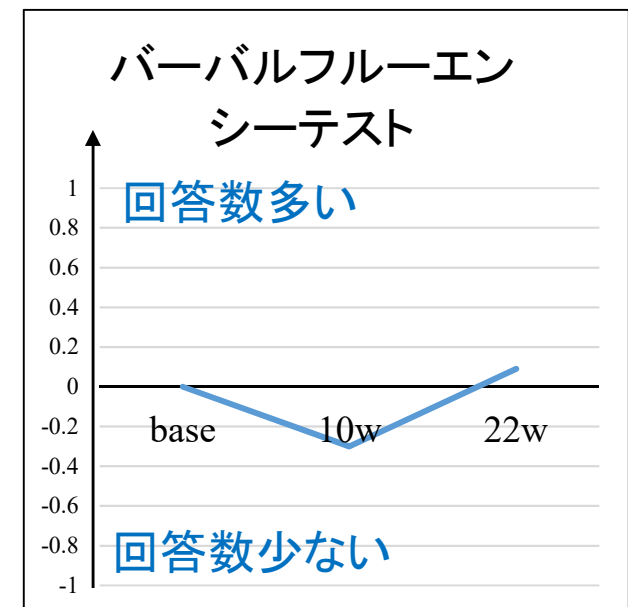
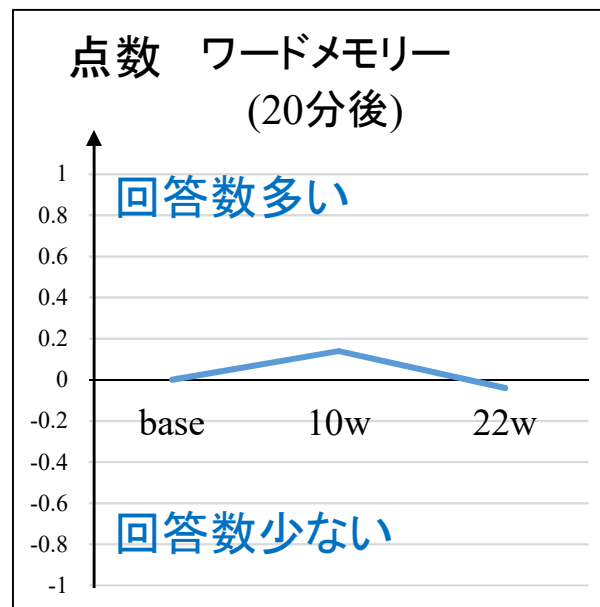
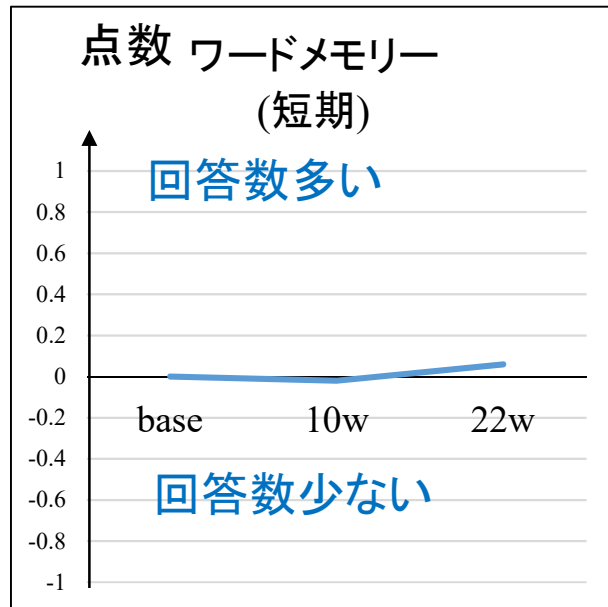
MNA-SF 簡易栄養状態 評価表

食事摂取チェック シート

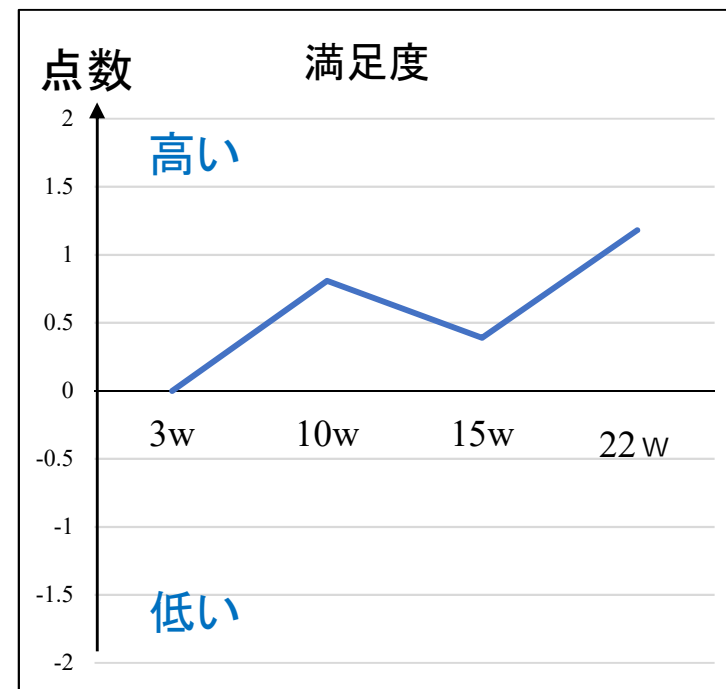
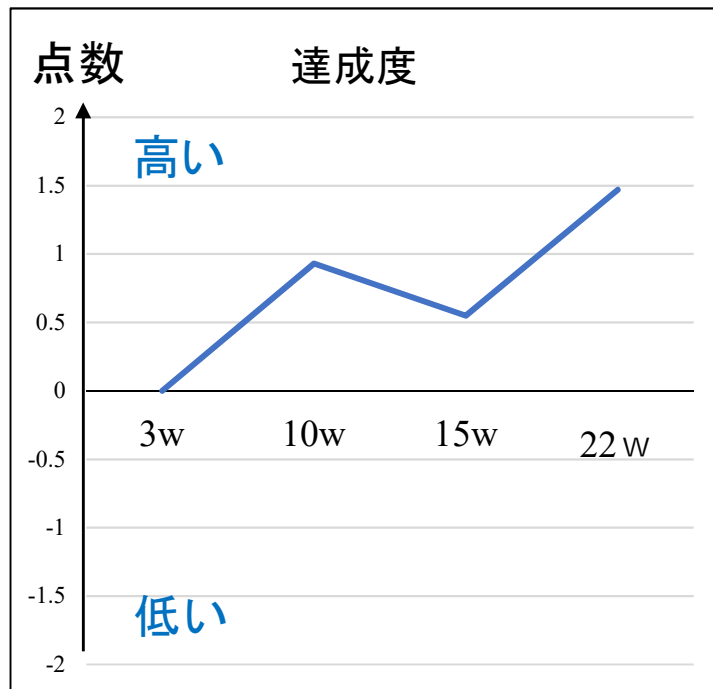
基本チェックリスト 質問25項目の総合点



記憶(短期、遅延再生), バーバルフルーエンシーテスト



セルフチャレンジテスト



結 語

- ・本プログラムはフレイルの改善、維持において一定の効果を示した。
- ・特に、下肢筋力の増強、日常の活動範囲の広がり、自己目標の達成に有用であり、身体機能を改善に寄与した。
- ・認知機能や精神状態の有意な改善は認められなかったものの、開始時の水準を維持できたことが評価される。
- ・一方で、各中間アセスメントでは、測定値の低下傾向がみられたことから、利用者の健康状態の変化に注意する必要がある。また、利用者に対してアセスメントに対する重要性を理解させ、モチベーションを維持する工夫が求められる。
- ・今後、さらに継続的なフォローアップと適切なサポート体制の充実により、プログラムの効果を一層高め、利用者の健康維持・改善に寄与していきたい。

発表内容

- ミニデイ型・運動型通所サービス利用者の推移
- ミニデイ型通所サービス(いきいき元気プログラム)の効果検証
- ミニデイ型通所サービス タブレット端末を用いたシステム

ミニデイ型通所サービス タブレット端末を用いたシステムの開発

【目的】

ミニデイ型通所サービス事業所の現場での効率化、利用者へのフィードバックを図るために、アセスメント結果をタブレット端末で入力できるシステムを開発した。



Copyright © 2020 名古屋市介護予防・認知症予防プログラム推進課. All rights reserved.



システムの概要

いきいき元気プログラム

[利用一覧](#)
[グループ管理](#)
[アカウント情報](#)
[CSVエクスポート](#)
[ログアウト](#)

ID: VD03-0092 | 登録日: 2023/10/16 | ニックネーム: 稲山3日目 | 表示している内容: 基本情報

基本情報

[← 一覧に戻る](#)
[🖨 ページを印刷する](#)

☒ 編集する

ニックネーム: 稲山3日目
 生年月日: 1920年 (入会年)
 性別: 男性 ☐ 女性 ☐
 認定区分: 重要支援1 ☐ 重要支援2 ☐ 準要支援者 ☐
 利用期間: 2023/10/16 ~ 2025/01/01
 グループ: Aチーム

☒ 編集する

グループ管理

[+ 新規グループ登録](#)

ID	ステータス	グループ名
4	使用中	Aチーム
5	使用中	Bチーム
13	使用中	Cチーム
14	使用中	Dチーム
15	使用中	火_AM
16	使用中	火_PM_早
17	使用中	火_PM_遅組

☒ 一括登録

生活のひらがり (LSA)

生活のひらがり (LSA)
 歩く力作り (TUG)
 30秒椅子立ち上がりテスト
 2.4m歩行 (通常)
 口腔チェックシート
 パーパレフルーエンシーテスト
 ワードメモリー
 CDS-15
 草木チェックリスト
 経路栄養状態評価表 (MNA-SF)
 食事摂取チェックシート
 セルフチャレンジプログラム

いきいき元気プログラム

[利用一覧](#)
[グループ管理](#)
[アカウント情報](#)
[CSVエクスポート](#)
[ログアウト](#)

研究ID: VD03- ~ VD03- グループ:

[🔍 検索](#)

[+ 新規登録](#)
[➡ チェックしたものを一括入力](#)

登録中の利用者 | 過去の利用者

1 - 10 / 78 件

1 2 3 4 5 6 ...

[🖨 ページを印刷](#)
[表示する](#)

ID	Entry	1クール	1クール	1クール	1クール	2クール	2クール	2クール	2クール	完了	レポート
VD03-0001 TEST01さん	登録済	1	4	8	10	13	16	20	22	完了	グラフ
		2	5	9	11	14	17	21	23		一覧表
		3	6	間<	12	15	18	間<	24		
		間<	7		間<	間<	19	間<			
		間<			間<	間<	間<	間<			
VD03-0002 TEST02さん	登録済	1	4	8	10	13	16	20	22	完了	グラフ
		2	5	9	11	14	17	21	23		一覧表
		3	6	間<	12	15	18	間<	24		
		間<	7		間<	間<	19	間<			
		間<			間<	間<	間<	間<			
VD03-0004 1234567さん	編集中	1	4	8	10	13	16	20	22	完了	グラフ
		2	5	9	11	14	17	21	23		一覧表
		3	6	間<	12	15	18	間<	24		
		間<	7		間<	間<	19	間<			
		間<			間<	間<	間<	間<			
VD03-0006 さん	編集中	1	4	8	10	13	16	20	22	完了	グラフ
		2	5	9	11	14	17	21	23		一覧表
		3	6	間<	12	15	18	間<	24		
		間<	7		間<	間<	19	間<			
		間<			間<	間<	間<	間<			

該当週に行うアセスメント項目がすべて表示される

ID	VF03-0001	登録日	2022/02/28	ニックネーム	TEST01	表示している内容	1ヶ月事前 (1~3週)
----	-----------	-----	------------	--------	--------	----------	--------------

1クール事前 (1~3週)

[← 一覧に戻る](#)

✓

1日目

|

運動・LSA

完了

✓

2日目

|

口腔・認知・うつ

完了

✓

3日目

|

共通・栄養

完了

🖨 ページを印刷する

印刷機能でPDFに変換して文書保存することもできます。

[illegible][illegible]

問診票	
専門の検査状態 左記の症状もありです 検査項目	☐ あり ☐ どちらもあり ☐ どちらでもなくない ☐ どちらもない ☐ 喉嚨炎 ☐ 扁桃炎 ☐ 扁桃腺腫大 ☐ 下咽 ☐ 咽頭 ☐ 咽頭炎 ☐ 喉頭炎 ☐ 口舌炎 ☐ 喉痛 ☐ 咽頭痛 ☐ 嚥痛 ☐ 嚥下感 ☐ 嚥下困難 ☐ 声の枯 経過 20 日 経年 03 年 問 問診票 出 日 主治・科 主治 呼吸器科 科長 呼吸器科 医師 呼吸器科 経過 20 日 経年 03 年 問 主治・科 主治 呼吸器科 科長 呼吸器科 医師 呼吸器科 経過 20 日 経年 03 年 問

アセスメント入力例

30秒椅子立ち上がりテスト

実施有無	☒ あり ☐ なし
測定のポイント	- 座った状態から開始し、立ち上がって1回とカウントします - 座って再び立ち上がって2回とカウントします。 30秒間立ち上がりの動作が見られるごとに1回をカウントします。 - 測定中は膝だけを伸ばすのではなく、しっかり立ち上がるように指示し、膝・腰・背中がすべて伸びるように説明します。 - 膝や腰に痛みや違和感を訴え場合は中止します。
実施日	2023/10/25
腕組み	☒ 腕組み有り ☐ 腕組み無し
測定数	11 カウント
 地域在住高齢者における転倒予測のcut off 値 14.5回	



マニュアルの該当ページに移動

 マニュアル p44~47



測定方法のポイントを記載



カットオフ値を下回る場合には、表示を変える

アセスメント入力例

LSAは自動計算で結果を表示する。

ID	VD03-0001	登録日	2022/02/28	ニックネーム	TEST01	表示している内容	1日目（運動・LSA）
生活空間レベル5	d. 上記生活空間に行くのに、他者の助けが必要でしたか。 ☒ はい ☐ いいえ						
	a. この4週間、町外に外出しましたか。 ☒ はい ☐ いいえ						5点
	b. この4週間で、上記生活空間に何回行きましたか。 ☐ 週1回未満 ☐ 週1～3回 ☒ 週4～6回 ☐ 毎日						3点
	c. 上記生活空間に行くのに、補助具または特別な器具を使いましたか。 ☒ はい ☐ いいえ						1.5点
	d. 上記生活空間に行くのに、他者の助けが必要でしたか。 ☐ はい ☒ いいえ						
合計	65.5 点					! cut off値 56点以下	

入力結果のフィードバック

歩くチカラ (TUG)

マニュアル p40~41

実施有無	☒ あり ☐ なし
教示のポイント	1回目は、いつも歩いている速さで、3m先のポールを回ってきてください。 - 回る方向はどちらでもかまいません。戻ってきたらすぐに椅子に腰掛はってください。 2回目は、出来る限り早く歩いて、3m先のポールを回ってきてください。
実施日	2023/10/25
1回目 (通常の歩行速度)	 秒 (通常：いつも歩いている速さ) 未入力です。 小数点第1位まで入力してください。(小数点第2位を四捨五入します)
2回目 (最大の歩行速度)	100 秒 (最大：出来る限り早く歩く) 値が不正です。 小数点第1位まで入力してください。(小数点第2位を四捨五入します)
ⓘ 介護予防の観点から運動器不安症のcut off 値 11.0秒	

正確なアセスメント結果を入力するために、アラートを表示させる。(登録時)

30秒反復唾液嚥下テスト

GDS

12. 30秒で何回「ごっくん」ができますか(実際に体験しましょう)

☐3回以上 ☒2回 ☐1回 ☐0回

ⓘ 2回以下は摂食嚥下障害の可能性あり

5 点

ⓘ 5点以上：うつ傾向、10点以上：うつ状態

11 点

ⓘ 5点以上：うつ傾向、10点以上：うつ状態

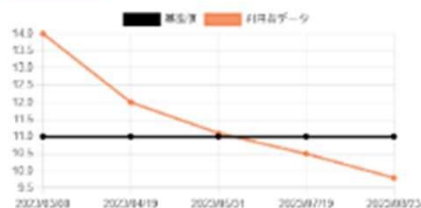
グラフ表示 プリンターに接続すれば印刷も可能 利用者へのフィードバックに活用できる。

1枚目

ID	VD03-0046
登録日	2023/09/15
ニックネーム	なごやさん
生まれ年	1945年(昭和20年)
性別	女
出力日	2023/10/25

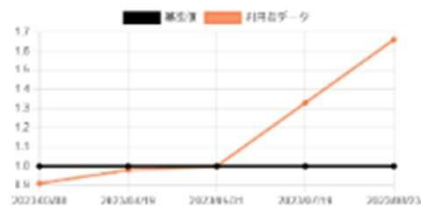
	1回目	2回目	3回目
身長cm	160.0	161.0	165.0
体重kg	62.0	60.8	60.0
BMI	24.2	23.5	22.0

TUG (秒)



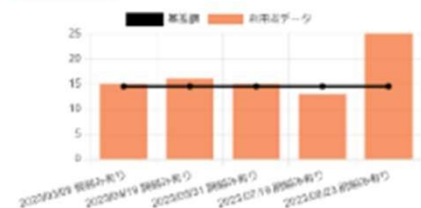
介護予防の観点から運動不安定症の基準値：11秒
11秒未満を目指す。

歩行速度 (m/秒)



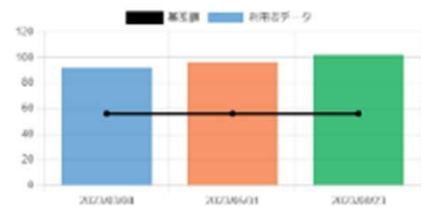
歩行速度1.0m/秒未満は歩行速度低下 (J-CHS基準)
1.0m/秒以上を目指す。

30秒椅子立ち上がりテスト (回)



地域在住高齢者の転倒予測の基準値：14.5回
(腕組み有り)。15回以上を目指す。

LSA合計点



LSA合計点 56点以下:は将来の日常生活動作の低下リスクが高い状態。

LSA 生活空間レベル別 (レーダーチャート)



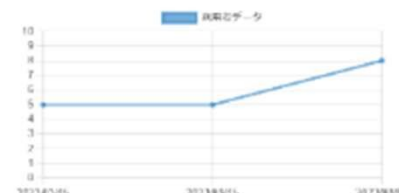
レーダーチャートが小さく中心に向かっていく項目は、生活の広がりがないことを示す。

口腔チェックシート

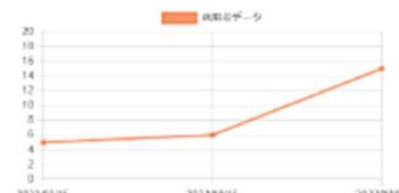
項目12	1回目	2回目	3回目
30秒反復咀嚼テスト	3回以上	3回以上	3回以上

※2回以下は嚥下機能障害の可能性

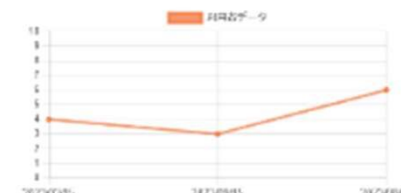
ワードメモリー (即時・正解数)



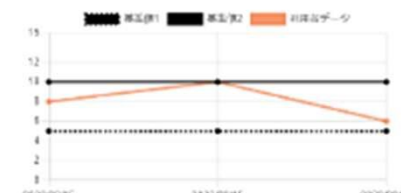
バーバフルーエンシーテスト (正解数)



ワードメモリー (20分後・正解数)



GDS-15



5点以上：気持ちが落ち込む傾向の可能性あり
10点以上：気持ちが落ち込んでいる状態の可能性あり

2枚目

3枚目



4枚目

レーダーが小さく中心に向かっている項目（食品種類）は、摂取が少ないことを示す。

セルフチャレンジテスト（実行度）



セルフチャレンジテスト（満足度）



コメント

コメント入力部分。
直接入力しても手書きでもよい。

< 一覧に戻る

帳票 記録の保管・他部署へのフィードバック可能

いきいき元気プログラム

利用案内 利用案内 利用案内 利用案内 利用案内

一覧に戻る

ID	VD03-0046
登録日	2023/09/15
ニックネーム	なごやさん
生まれ年	1945年（昭和20年）
性別	女
出力日	2023/10/25

アセスメント表

名前 なごやさん

ID VD03-0046

	テーマ	1クール	2クール
1日目	生活のひろがり（LSA）	改善	
	多くてカラ（TUG）※測定値の低い方	14.0 秒	
	30秒椅子立ち上がりテスト	胸囲み有り 15 カウント	
	2.4m歩行（通称）（秒数）	2.65 秒	
2日目	口腔チェックシート	改善	
	バーバフルーエンシーテスト	5 例	
	ワードメモリー	即時正解数 5 例 20分後正解数 4 例	
	GDS-15	8 点	
3日目	基本チェックリスト	改善	
	簡易栄養状態評価表（MNA）	14 ポイント	
	食事摂取チェックシート	改善	
7日目	多くてカラ（TUG）※測定値の低い方	12.0 秒	10.5 秒
	30秒椅子立ち上がりテスト	胸囲み有り 16 カウント	胸囲み有り 13 カウント
	2.4m歩行（通称）（秒数）	2.45 秒	1.80 秒
10日目	口腔チェックシート	改善	改善
	バーバフルーエンシーテスト	6 例	15 例
	ワードメモリー	即時正解数 5 例 20分後正解数 3 例	即時正解数 8 例 20分後正解数 6 例
	GDS-15	10 点	6 点
11日目	基本チェックリスト	改善	改善
	簡易栄養状態評価表（MNA）	14 ポイント	13 ポイント
	食事摂取チェックシート	改善	改善
12日目	生活のひろがり（LSA）	改善	改善
	多くてカラ（TUG）※測定値の低い方	11.1 秒	9.8 秒
	30秒椅子立ち上がりテスト	胸囲み有り 15 カウント	胸囲み有り 25 カウント
	2.4m歩行（通称）（秒数）	2.30 秒	1.45 秒
セルフチャレンジプログラム	事前	実行度 5 達成度 5	実行度 7 達成度 10
	事後	実行度 5 達成度 5	実行度 9 達成度 8

生活のひろがり（LSA）

名前 なごやさん

ID VD03-0046

クール	日時	生活空間 レベル1	生活空間 レベル2	生活空間 レベル3	生活空間 レベル4	生活空間 レベル5	合計
1	1日目	8	16	24	24	20	92
	12日目	8	16	18	24	30	96
2	12日目	8	16	24	24	30	102

口腔チェックシート

名前 なごやさん

ID VD03-0046

クール	日時	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	2日目	はい え	はい え	はい え	はい え	はい え	はい え	はい え	はい え	はい え	はい え	はい え	3項目 上
	10日目	はい え	はい え	はい え	はい え	はい え	はい え	はい え	はい え	はい え	はい え	はい え	3項目 上
2	10日目	はい え	はい え	はい え	はい え	はい え	はい え	はい え	はい え	はい え	はい え	はい え	3項目 上

基本チェックリスト

名前 なごやさん

ID VD03-0046

クール	日時	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	No. 8	No. 9	No. 10	No. 11	No. 12	No. 13	No. 14	No. 15
1	3日目	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
	11日目	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
2	11日目	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
クール	日時	No. 16	No. 17	No. 18	No. 19	No. 20	No. 21	No. 22	No. 23	No. 24	No. 25	身長	体重	BMI		
1	3日目	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	160.0 cm	62.0 kg	24.2		
	11日目	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	161.0 cm	60.8 kg	23.5		
2	11日目	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	165.0 cm	60.0 kg	22.0		

食事摂取チェックシート

名前 なごやさん

ID VD03-0046

クール	日時	回数	芋類	豆類	肉類	魚	卵	大豆	乳類	油類	海藻	緑黄色野菜	葉・水	合計
1	3日目	4	6	6	5	3	7	7	7	6	5	6	7	69
	11日目	4	4	5	6	7	7	4	4	5	5	7	7	65
2	11日目	4	5	5	6	7	7	4	4	5	6	7	7	67

一覧に戻る

タブレット端末システム導入の利点（無償提供）

- 客観的なアセスメント: アセスメント結果を確認でき、記録することで、利用者の状態を客観的に把握でき、基準値との比較が可能になる。
- 効果的な入力システム: 入力作業には一定の労力を要するが、複数の利用者を一括入力できる工夫がされている。
- 進捗の視覚化: サービス提供者と利用者の両者が、アセスメント結果を経時的に視覚化できるため、利用者は自身の進捗を実感し、モチベーションを高めることができる。また、サービス提供者はより効果的なケアを支援することができる。
- 名古屋市全域での展開: ミニデイ型通所サービスのデータ収集や効果検証が可能になる。これに基づき、より効果的なサービス提供やプログラムの改善につなげることができる。

最後に

名古屋市立大学は、健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課と協働し、ミニデイ型・運動型通所サービスの効果検証を引き続き推進してまいります。

今後とも、ご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。